

## 令和5（2023）年度事業報告

令和5（2023）年4月1日から令和6（2024）年3月31日までの事業概要は次のとおりである。

### 1. 法人の基本情報について

#### 〔1〕会 員

令和5（2023）年度末の会員数は次のとおりである。

区 分	会 員 数	備 考
個人正会員	1503名	うち海外在住外国人正会員8名
特別正会員	49名	
団体正会員（公益）	63口	
団体正会員	70口	
学生会員	413名	
名誉会員	15名	
合 計	2113名	

〔2〕運営に関する会議を次のとおり開催した。

#### (1) 第43回通常総会

- 1) 日 時 令和5（2023）年6月13日（火） 13時00分～13時35分
- 2) 場 所 タワーホール船堀（東京都江戸川区）
- 3) 出席者 933名
- 4) 議 題
  - ア. 令和4（2022）年度決算（案）について
  - イ. 理事および監事の選任について
  - ウ. 顧問および参与の選任について報告 令和4（2022）年度事業報告

#### (2) 第135回理事会

- 1) 日 時 令和5（2023）年5月26日（金） 16時00分～17時50分
- 2) 場 所 学会事務局（東京都江東区）
- 3) 出席者 西嶋会長他理事19名、監事2名、運営幹事2名、他に事務局
- 4) 内 容
  - ア. 各種表彰の選考
  - イ. 理事および監事候補者の選考について
  - ウ. 学会の将来ビジョン案について
  - エ. 特定費用準備資金について
  - オ. 第43回通常総会の開催、招集、議決権行使および委任の方法の承認

- カ. 議案および議事資料の確認、令和4（2022）年度決算（案）および事業報告の承認
- キ. 規程改定の承認
- ク. 研究委員会の前年度活動報告、今年度継続申請および予算の承認
- ケ. 入退会者等の承認
- コ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
- サ. その他

(3) 第136回理事会

- 1) 日 時 令和5（2023）年6月13日（火）14時15分～14時55分
- 2) 場 所 タワーホール船堀（東京都江戸川区）
- 3) 出席者 理事23名、監事3名、他に事務局長
- 4) 内 容
  - ア. 会長の選定
  - イ. 副会長、常務理事の選定
  - ウ. 運営理事(担当理事)の選定
  - エ. 副会長の会長業務執行に係る職務の代行順序の決定
  - オ. 表彰委員会委員長の委嘱
  - カ. その他

(4) 第137回理事会

- 1) 日 時 令和5（2023）年7月18日（火）16時00分～16時53分
- 2) 場 所 学会事務局（東京都江東区）
- 3) 出席者 池会長他理事21名、監事3名、他に事務局
- 4) 内 容
  - ア. 学会将来ビジョンの確認
  - イ. 今年度運営幹事の承認
  - ウ. 入退会者等の承認
  - エ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
  - オ. その他

(5) 第138回理事会

- 1) 日 時 令和6（2024）年3月7日（木）12時22分～13時23分
- 2) 場 所 九州大学伊都キャンパス（福岡市）
- 3) 出席者 池会長他理事24名、監事3名、運営幹事5名、他に事務局
- 4) 内 容
  - ア. 各種表彰の選考
  - イ. 規程類改定の承認
  - ウ. 令和6（2024）年度事業計画案と予算案の承認
  - エ. 入退会者および特別正会員への移行の承認
  - オ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
  - カ. その他

〔3〕運営方法および財政改善に関する検討

健全な運営のための業務改革と財政改善を積極的に推進した。

## 2. 事業活動等について

### 〔1〕公益目的事業

#### 公1 水環境分野における学術文化の発展及び水環境の保全を図るための年会・シンポジウム・セミナー等の開催

##### 公1-1. 年会

年会を次のとおり開催した。

###### (1) 第58回日本水環境学会年会

- 1) 開催日 令和6(2024)年3月6日(水)～8日(金)
- 2) 場 所 九州大学伊都キャンパス(福岡市)
- 3) 参加者 1315名
- 4) 一般発表:発表件数 669件(口頭385件+ポスター284件)の他、特別講演会、企業展示、水環境ビジネスガイダンス、会員企業・研究機関等就職説明会、男女共同参画推進セミナー、各賞の発表と表彰が行われた。

##### 公1-2. シンポジウム

シンポジウムを次のとおり開催した。

###### (1) 第26回日本水環境学会シンポジウム

- 1) 開催日 令和5(2023)年9月20日(水)～22日(金)(22日(金)はテクニカルツアー)
- 2) 場 所 大阪大学吹田キャンパス(大阪府吹田市)
- 3) 参加者 472名
- 4) 19の研究委員会によるセッションの他、特別講演会、および各賞の発表と表彰が行われ、関西支部共催としてテクニカルツアーが実施された。

##### 公1-3. セミナー

セミナーを次のとおり開催した。

###### (1) 第32回市民セミナー

- 1) 開催日 令和5(2023)年8月8日(火)
- 2) 場 所 オンライン開催
- 3) 参加者 52名
- 4) テーマ SDGsへのアプローチ～水環境分野の戦略～

###### (2) 第69回日本水環境学会セミナー

- 1) 開催日 令和6(2024)年1月31日(水)
- 2) 場 所 オンライン開催
- 3) 参加者 159名
- 4) テーマ 上下水道の一元化がもたらすもの

##### 公1-4. 産官学協力

第36回見学会を次のとおり実施した。

- 1) 開催日 令和5(2023)年10月31日(火)
- 2) 場 所 首都圏外郭放水路(埼玉県春日部市)
- 3) 参加者 21名

水環境懇話会を次のとおり開催した。

#### (1) 第 56 回水環境懇話会

- 1) 開催日 令和 5 (2023) 年 8 月 22 日 (火)
- 2) 場 所 株式会社明電舎大崎会館および web 会議システムの併用
- 3) 参加者 40 名
- 4) テーマ 微生物と友達にー資源循環に貢献する分解者の活用技術ー

#### (2) 第 57 回水環境懇話会

- 1) 開催日 令和 5 (2023) 年 11 月 8 日 (水)
- 2) 場 所 株式会社明電舎大崎会館および web 会議システムの併用
- 3) 参加者 47 名
- 4) テーマ カビ臭産生藻類の監視強化に向けた取り組みー遺伝子検査は有用か？ー

### 公 1-5. 国際学会

国際会議を次のとおり開催した。

Water and Environment Technology Conference 2023-online (WET2023-online) を開催した。(一部は、水 ing 株式会社からの出捐事業として実施した。)

- 1) 開催日 令和 5 (2023) 年 7 月 8 日 (土) ~9 日 (日)
- 2) 場 所 オンライン開催
- 3) 参加者 156 名
- 4) 発表数 104 件

### 公 1-6. 支部活動

7 支部がそれぞれ総会、講演会、研究発表会、セミナー、表彰等を実施した。

### 公 1-7. その他

- (1) 関連学協会の講演会等を協賛・後援した。
- (2) 環境工学連合講演会を開催する日本学術会議環境学委員会環境科学・環境工学分科会 (日本学術会議土木工学・建築学委員会企画分科会より移管、継承) 環境工学連合小委員会に継続して参画した。
- (3) WET2023-online などの機会を捉えて、国際連携会員の拡大に努めた。
- (4) オンライン・対面型融合活動の推進 (リモート化促進) について検討を継続した。
- (5) 学会が掲げる学術の中長期計画 (将来ビジョン) の実施促進に係る活動について検討し、セミナー等を実施した。

## 公 2 水環境分野における学術文化の発展及び水環境の保全を図るための機関誌等の発行

### 公 2-1. 機関誌

- (1) 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
- (2) 機関誌「水環境学会誌」原著論文編およびバックナンバーを科学技術振興機構 (JST) が運営する J-STAGE 上で公開した。

### 公 2-2. JWET

機関誌 “Journal of Water and Environment Technology” を発行し、科学技術振興機構 (JST) が運営する J-STAGE 上で公開した。

### 公 2-3. 水生生物資料頒布

水生生物調査法に関する環境省水・大気環境局/国土交通省水管理・国土保全局編「川の生きものを調べよう」冊子および下敷を販売した。

## 公2-4. 電子媒体による学術的資産アーカイブ

水環境学会誌の特集企画記事等の学術的資産アーカイブの活用について検討した。

## 公2-5. その他

- (1) 年会等講演資料集を販売した。
- (2) 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」の Vol.1~Vol.30 の PDF 版を収めた DVD-ROM を販売した。

## 公3 水環境分野における学術文化の発展及び水環境の保全を図るための助成・表彰等の研究支援

### 公3-1. 会員助成

水環境国際招聘賞および水環境国際活動賞

水環境国際招聘賞（いであ招聘賞）および水環境国際活動賞（いであ活動賞）を次の各氏に授賞した。

- (1) 水環境国際招聘賞（JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award）  
Bin He (Guangdong Academy of Sciences, China)  
Sungjun Bae (Konkuk University, Republic of Korea)  
Ranjan Sarukkalgige (Curtin University, Australia)  
Wen-Long Wang (Tsinghua University, China)

（いであ株式会社からの出捐顕彰事業として上記の4名の国際連携会員に対し「水環境国際招聘賞」を授与し、第58回年会で研究発表を行う来日費用等を助成し表彰した。）

- (2) 水環境国際活動賞（JSWE-IDEA Water Environment International Activity Award）

のむら ようへい  
野村 洋平 (Japan-YWP (代表) 兼 京都大学)

Japan-YWP & Philippines-YWP International Symposium on Sustainable Water Management (水利用の未来を考える Japan-YWP・Philippines-YWP 国際シンポジウム)

（いであ株式会社からの出捐顕彰事業として上記の1名に対し「水環境国際活動賞」を授与し、活動費用の一部を助成することを決定した。）

### 公3-2. 一般表彰

水環境の保全・創造に関する社会・文化活動が顕著である者、及び地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループなどを年会において表彰した。

- (1) 水環境文化賞

#### 1) 水環境文化賞

受賞者	特定非営利活動法人 海浜の自然環境を守る会 (兵庫県西宮市)
対象活動	甲子園浜を通じた人と海浜と自然の理解と教育及び保護の普及啓発活動
受賞者	特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島 (静岡県三島市)
対象活動	水の都・三島の水環境を地域協働で再生する活動
受賞者	仙台リバーズネット・梅田川 (宮城県仙台市)
対象活動	梅田川における水環境保全活動
受賞者	筑後川まるごと博物館運営委員会 (福岡県久留米市)
対象活動	筑後川の文化伝承・学習・環境保全活動

2) 水環境文化賞「児童・生徒の部」(みじん子賞)

受賞者 福岡工業大学附属城東高等学校 科学部 (福岡県福岡市)

対象活動 和白干潟のアマモ場創出や志賀島での図鑑作成による水環境保全活動

(2) 7支部がそれぞれ表彰を実施した。

公3-3. 会員表彰

学会の発展に貢献あるいは、水環境に係る分野において特に優れた功績を認められる個人、あるいは優秀な研究論文を発表した個人等、内規で定められた表彰内容にふさわしい会員を、総会、年会及びシンポジウムの開催時に表彰した。(敬称略・50音順)

(1) 学会賞

受賞者 にしじま わたる  
西嶋 渉 (広島大学環境安全センター・教授)

(2) 学術賞

受賞者 さとう ひろやす  
佐藤 弘泰 (東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授)

対象研究 下水処理プロセスにおける微生物による有機物貯蔵現象の解明と工学的応用に関する研究

受賞者 すずき よしひろ  
鈴木 祥広 (宮崎大学工学部・教授)

対象研究 水環境における病原微生物の拡散と衛生環境の保全に関する研究

(3) 論文賞

受賞者 いのうえ だいすけ  
井上 大介 (大阪大学大学院工学研究科・准教授)

主要対象論文 Effectiveness of tetrahydrofuran at enhancing the 1,4-dioxane degradation ability of activated sludge lacking prior exposure to 1,4-dioxane

掲載誌 *Water Science & Technology*, Vol.87, 1707 (2022)

受賞者 しらすき のぶたか  
白崎 伸隆 (北海道大学大学院工学研究院・准教授)

主要対象論文 Investigation of removal and inactivation efficiencies of human sapovirus in drinking water treatment processes by applying an *in vitro* cell-culture system

掲載誌 *Water Research*, Vol.236, 119951 (2023)

(4) 論文奨励賞(廣瀬賞)

受賞者 しゅう しんい  
周 心怡 (京都大学大学院地球環境学堂・特定研究員)

対象論文 Evaluation of nitrous oxide emission during ammonia retention from simulated industrial wastewater by microaerobic activated sludge process

掲載誌 *Water Research*, Vol.247, 120780 (2023)

受賞者 のろ かずし  
野呂 和嗣 (静岡県立大学食品栄養科学部・助教)

対象論文 Development and Evaluation of the Performance of the Polar Organic Chemical Integrative Sampler for Linear Alkylbenzene Sulfonate

掲載誌 *Journal of Water and Environment Technology*, Vol.20, No.1, pp.11-20 (2022)

受賞者 はふか あきら  
羽深 昭 (北海道大学大学院工学研究院・助教)

対象論文 Innovative receiving phase for Chemcatcher<sup>®</sup> passive sampler for phosphorus in the water environment: Calibration of sampling rate by water temperature and pH

掲載誌 *Water Research*, Vol.243, 120412 (2023)

(5) 技術賞

受賞者 おぐま くみこ  
小熊 久美子 (東京大学大学院工学系研究科・教授)  
対象技術 紫外発光ダイオードを用いた小規模分散型水消毒装置の評価と技術実装

(6) 技術奨励賞

該当者なし

(7) 特別功労賞

受賞者 はつまた しげる  
初又 繁 (メタウォーター株式会社・常勤監査役)

(8) 支部活動優良賞

受賞支部 東北支部  
対象活動 東北支部研究発表会

(9) 博士研究奨励賞(オルガノ賞) (◎:最優秀賞)

しらかわ だいき  
◎白川 大樹 (北海道大学大学院)  
かくだ たかゆき  
角田 貴之 (中央大学理工学部)  
チン イーゼー  
陳 芸澤 (株式会社東京設計事務所)  
やすい みどり  
安井 碧 (京都大学大学院)

(オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、第26回シンポジウムで発表した上記の4名に「博士研究奨励賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(10) 年会優秀発表賞(クリタ賞) および年会優秀発表賞(クリタ賞) 受賞者国際会議発表助成

1) 年会優秀発表賞(クリタ賞)

あくと たいよう  
阿久戸 太陽 (北海道大学大学院)  
あんどう だいすけ  
安藤 大将 (北海道大学大学院)  
いからし ともや  
五十嵐 智哉 (長岡技術科学大学大学院)  
いしざき ゆうた  
石崎 悠太 (東京大学大学院)  
いしむら なおこ  
石村 菜穂子 (北里大学大学院)  
くわい こうすけ  
桑井 孝祐 (大阪大学大学院)  
こやま ひろき  
小山 寛貴 (東北大学大学院)  
さの かずと  
佐野 航士 (北海道大学大学院)  
しまだ あみ  
島田 彩未 (東洋大学大学院)  
そめや かほ  
染谷 果穂 (東洋大学大学院)  
たかい まほ  
高井 麻帆 (北海道大学大学院)  
たけうち ともか  
竹内 智香 (北海道大学大学院)  
まえだ りょうた  
前田 稜太 (東北大学大学院)  
ますだ しおり  
栴田 詩織 (京都大学大学院)  
よこやま りつ  
横山 律 (山形大学大学院)

(公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の15名に「年会優秀発表賞」を授与した。)

2) 年会優秀発表賞（クリタ賞）受賞者国際会議発表助成

にしやま まさてる  
西山 正晃

(山形大学農学部)

(公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の1名に国際会議発表の旅費等を助成した。)

(11) 年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）（◎：最優秀賞）

あそう ゆり	麻生 侑里	(東洋大学)
いなば よしひこ	稲葉 吉彦	(京都大学)
いわい はるこ	岩井 温子	(京都大学)
かみむら こうき	上村 光輝	(長岡工業高等専門学校)
くろき さくら	黒木 咲良	(山口大学)
◎さいとう まさや	◎齊藤 真哉	(秋田県立大学)
さかむき しの	坂向 偲乃	(広島大学)
しらとり みゆき	白鳥 瑞雪	(中央大学)
たかはし りほ	高橋 律穂	(山口大学)
たむら ともあき	田村 知暁	(北海道大学)
はっとり かずま	服部 兼真	(愛媛大学)
ふかざわ えいじ	深澤 英司	(千葉工業大学)
ふくし もえ	富士 萌笑	(北海道大学)
ふなざわ こうき	船澤 昂希	(大阪大学)
ふるい しん	古井 真	(岐阜大学)
ほんま かなの	本間 加奈乃	(東邦大学)
みぞぶち にき	溝渕 和	(香川高等専門学校)
みやはら もえり	宮原 もえり	(神戸大学)
やまぐち こうへい	山口 耕平	(北海道大学)
よしもと りゅうせい	吉本 龍晟	(高知大学)

(ライオン株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の20名に「年会学生ポスター発表賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(12) 年間優秀論文賞（メタウォーター賞）

対象論文 水環境中に残留する水田施用農薬の Polar Organic Chemical Integrative Sampler (POCIS)とGrabサンプリングによる時間加重平均濃度の比較

受賞者 須戸 幹、梶原 暢人、岩間 憲治（滋賀県立大学）

掲載誌 水環境学会誌, Vol.45, No.2, 41-50 (2022)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の論文の著者に2022年「年間優秀論文賞」を授与し、第26回シンポジウムでの受賞者講演会の発表者に旅費等を助成した。)

(13) WET 優秀論文賞（水 ing 論文賞）および WET 優秀発表賞（水 ing 発表賞）

1) WET Excellent Paper Award（WET 優秀論文賞（水 ing 論文賞））

対象論文 Microplastic Ingestion by a Benthic Amphipod in Different Feeding Modes

受賞者 Kyoshiro Hiki<sup>1</sup>、Fumiyuki Nakajima<sup>2</sup>

(1 National Institute for Environmental Studies、2 The University of Tokyo)  
対象論文 Spontaneous Cell Lysis by *Pelomonas saccharophila* MRB3 Provides Plant-Available Macronutrients in Hydroponic Growth Media and Accelerates Biomass Production of Duckweed

受賞者 Hidehiro Ishizawa<sup>1,2</sup>、Yukiko Kaji<sup>1</sup>、Yuki Shimizu<sup>1</sup>、Masashi Kuroda<sup>1,3</sup>、Daisuke Inoue<sup>1</sup>、Ayaka Makino<sup>4</sup>、Ryosuke Nakai<sup>4</sup>、Hideyuki Tamaki<sup>5</sup>、Masaaki Morikawa<sup>6</sup>、Michihiko Ike<sup>1</sup>

(1 Osaka University、2 University of Hyogo、3 Tokoha University、4 National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Sapporo、5 National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Tsukuba、6 Hokkaido University)

2) WET Excellent Presentation Award (WET 優秀発表賞 (水 ing 発表賞))

Sewwandi BANDARA	(Tohoku University)
Jastine Mae Julita GALANG	(Tokyo Metropolitan University)
Guangze GUO	(Tohoku University)
Salsabil JANNAH	(Tokyo University of Agriculture and Technology)
Ching Yi KWANG	(Kyoto university)
Kizuku MORI	(Gifu University)
Aishwarya PANDEY	(The University of Tokyo)
Sunayana RAYA	(University of Yamanashi)
Annisa Andarini RUTI	(University of Yamanashi)
Shizuka SAITO	(Yamagata university)
Sadhana SHRESTHA	(University of Yamanashi)
Daniel TWUM-AMPOFO	(University of Yamanashi)
Jinmin YAO	(The University of Tokyo)
Siqing ZHANG	(Nagoya Institute of Technology)

(水 ing 株式会社からの出捐顕彰事業として、WET2023-online の参加者のうち、上記 14 名の発表者に WET Excellent Presentation Award を授与した。WET2023-online での発表に対する WET Excellent Paper Award は WET2024 で授与される。)

(14) 7 支部がそれぞれ表彰を実施した。

### 公 3 - 4. IWA 支援・協力

国際活動への助成、IWA 活動への協力などを行った。

(1) 京都会議記念基金を基にした国際会議参加援助として、2023 年 10 月 22 日～26 日に高雄 (台湾) で開催した第 9 回 IWA-ASPIRE 会議・展示会 (The 9th IWA-ASPIRE Conference& Exhibition 2023) 参加のための渡航費用等を下記 2 名に対して助成した。

き	かえん	
紀	佳淵	(東京大学未来ビジョン研究センター)
なかにし	ともひろ	
中西	智宏	(京都大学大学院)

(2) IWA およびその日本国内委員会の活動に参加し、IWA 活動を支援・推進した。

## 公 4 水環境分野における学術文化の発展及び水環境の保全を図るための研究調査

### 公 4 - 1. 受託研究調査の実施

対象研究調査なし。

#### 公4-2. 研究委員会活動

19 研究委員会（嫌気性微生物処理、MS 技術、生物膜法、身近な生活環境、微生物生態と水環境工学、バイオアッセイによる安全性評価、土壌地下水汚染、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、流域物質動態とノンポイントソース、膜を利用した水処理技術、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術、電気化学的技術、熱帯・亜熱帯地域水環境、農産業に関わる水・バイオマス循環技術、汽水域、地域水環境行政、マイクロプラスチック）が、シンポジウムでセッションを企画するなどそれぞれ活動を行った。

#### 公4-3. 災害調査

日本学術会議と連携して活動する防災減災・災害復興に関する学会ネットワーク「防災学術連携体」に継続して参画した。

#### 〔2〕収益事業

##### 収1. 事務室賃貸

対象収益なし。